

(別紙)

## 第三者評価結果

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

|  |                                   | 第三者評価結果 |
|--|-----------------------------------|---------|
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。  |                                   |         |
| 1  | I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光保育園の「保育園のしおり」や各保育室、事務室にも日光市の公立保育園共通の保育理念や保育方針、保育目標等が明記されている。保護者は入園時や、毎年保護者総会でも保育計画の中で説明を受けている。本年はコロナウイルス感染症対策のため後日の説明となった。職員は、配布される保育計画や掲示物で確認でき、園全体で周知が図られている。</p> |                                   |         |

#### I-2 経営状況の把握

|  |   | 第三者評価結果 |
|--|---|---------|
| I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。  |   |         |
| 2  | I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;事業経営に係る情報は、全国や県の専門誌、会議等を通して収集している。地域の情報は、第2期日光市地域福祉計画及び地域福祉活動計画などの計画や保護者アンケート、地元民生員などから保育ニーズを把握・分析しているが、民営保育園の存在もあり潜在的利用者の把握の難しさを感じている。</p> |   |         |
| 3  | I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。       | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;施設等の整備は予算の範囲に収められるよう見通しを持って行っている。日光市全体として少子化が進む中、地域の保育ニーズを把握し、保育園の役割を事業計画に反映し、一人ひとりの子どもを大切にしながら生きる力の基礎をつくる取り組みを進めている。</p>                   |   |         |

#### I-3 事業計画の策定

|   |                                       | 第三者評価結果 |
|---|---------------------------------------|---------|
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。   |                                       |         |
| 4   | I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | ②・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;第2期日光市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の中で、子どもを取り巻く環境や若い市民が求める子ども関連の不安・要求を把握し、子ども子育て支援事業計画により今後の人口動態の推移を計画に入れながら地域福祉活動計画及び日光地域の保育の提供体制が策定されている。</p> |                                       |         |
| 5   | I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。  | a・①・c   |

|   |  |       |
|---|--|-------|
| <p>&lt;コメント&gt;日光地域の中・長期計画を踏まえて年度初めに計画の実施必要性の観点から見直しを行い、事業計画書を策定するとともに、保育の計画や年間の行事計画、食育計画、保健計画、保護者会事業計画など各種計画が作成されている。</p>                          |  |       |
| <p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>   |  |       |
| 6   | <p>I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;事業計画の策定は公立保育園全体で形式が統一されており、毎年見直し等が行われている。計画は、子どもの育ちをとらえ職員から意見・提案を受けるなど全職員で話し合いを持ちながら市担当課と協議しつつ職員の意向も反映された計画を策定している。</p>              |  |       |
| 7   | <p>I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。</p>                 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;毎年保護者総会で事業計画や保育計画一式の説明をして周知をしているが、今年は新型コロナウイルス対策のため十分な説明ができず、後日、再度保護者個々に対して説明し、周知と理解を図っている。行事については、保護者会役員会で意見を求め、結果を全保護者に報告している。</p> |  |       |

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

|  |  | 第三者評価結果 |
|--|--|---------|
| <p>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>  |  |         |
| 8  | <p>I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p>               | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市では、保育施設の自己評価により年4回評価を実施している。評価の意見・改善には職員の気づきを組織として活用できるよう努めている。また、日光地区が「保育の質の向上」等をテーマに研究しており、組織的にPDCAサイクルに基づく取り組みを実施してきたが、要因を分析して改善につなげ、園の運営に自己評価が生かされることを期待する。</p>                                  |  |         |
| 9  | <p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p> | a・b・⑩   |
| <p>&lt;コメント&gt;平成24年に第三者評価の結果を受け、施設長会議で検討し改善されたところもあるが、改善が必要な課題も残されている。地域の保育ニーズについては、多方面からの情報収集など積極的に進めているが十分ではない。園内で改善課題の共有化はしているが、改善に至らない点や評価に迷いがある点について整理するなどコロナ禍の中で努力しているが、早期に保育実践に反映されるよう、改善策に結び付く取り組みが期待される。</p> |  |         |

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。   |   |         |
| 10  | II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;保育園の経営環境を把握しながら保育に必要な情報を施設長会議や研修会、市担当課等から収集し、各クラスリーダーを柱に職員会議等で伝達し情報の共有化を図るとともに、職員が責任をもって業務にあたるための環境整備に努めている。また、保護者への説明についても積極的である。</p>   |   |         |
| 11  | II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。     | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;保育園運営規定や保育園の運営に必要な法令等を遵守し、社会情勢を踏まえながら園の目標に向けた取り組みを進めている。県、市が開催する会議やネットで、運営に必要な法令の最新情報を収集している。また、環境関係委員として、資源の節約や環境の整備、防災対策にも取り組んでいる。</p>   |   |         |
| II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。   |   |         |
| 12  | II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。   | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日常の保育の様子を観察し、改革が必要な場合、特に合同保育や危機管理問題、園運営上の問題は提案を職員会議で伝え、意見交換し職員が納得したうえで実践している。保育の内容について職員からの提案については、話し合いのうえ内容を検討し、必要な改善に取り組んでいる。また、自己評価チェックリスト、業績評価などの面談等では、職員に助言を行うなど指導力を発揮している。</p> |   |         |
| 13  | II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。   | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;事業運営や経営改善については、市担当課と密に連絡・連携を図り、必要に応じて予算や人事配置を要求している。園全体の取り組みとして、予算の範囲内で執行できるよう職員に周知し、理解を図っている。職員から問題提起があった場合は、人的・物的環境を検討し、より質の高い保育ができるよう改善に取り組んでいる。</p>                              |   |         |

### II-2 福祉人材の確保・育成

|  |   | 第三者評価結果 |
|--|---|---------|
| II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。   |   |         |
| 14   | II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成基本方針による実行計画を基に人事異動が行われ、職員が確保されている。専門性の高い管理栄養士は、巡回指導で各園を回りアレルギー対応の献立や食材の相談に活用している。人材育成については、能力評価や業績評価の結果から年度途中で職員と面</p> |   |         |

|  |   |       |
|--|---|-------|
| 談を行い、職員が目標どおりに成長しているか確認する取り組みが行われている。  |   |       |
| 15   | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。                            | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;人事評価マニュアルにより市担当課長と全職員のヒアリングの実施、勤務状況報告書の活用などで人事評価している。業績評価では、個人と組織の目標を明確にして能力向上を目的に、目標設定・中間評価・期末評価の各段階において園長による一次評価、担当課長による二次評価のヒアリングにより、職員が助言を受けながら目標達成に向かうなど人材育成を図っている。職員アンケートも実施し結果を分析している。</p> |   |       |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。   |   |       |
| 16   | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。           | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;市担当課長によるヒアリング時に就業状況の意向把握があるほか、園では年2回園長、主任保育士との面談もあり仕事や家庭、健康など何でも気軽に話せる雰囲気がある。全職員は健康診断かストレスチェックを受けている。市ではカウンセラーによる心の相談室などを行い職員の働きやすい職場づくりに配慮している。</p>  |   |       |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。   |   |       |
| 17   | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                     | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成基本方針に沿って、業績評価が行われている。業績評価は課長・園長が目標設定をし、業績評価シートに職員個々が具体的な目標項目、達成水準、具体的方法、業績ウエイト、難易度を示し、目標設定している。定期的に年3回面談を実施し、職員一人ひとりの育成に向けた指導や助言を行う取り組みがされている。</p>   |   |       |
| 18   | Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。     | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成基本方針で市主催研修や外部機関研修など計画的に参加しスキルアップを図っている。今年度は、新型コロナウイルスの影響から研修の中止があったようだが、園内で月1回担当を決めて園内研修を実施したり、主任部会・保育士部会の勉強会に参加して不足を補うなど質の向上に資する取り組みを進めている。</p>   |   |       |
| 19   | Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                   | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;市行政の研修参加は義務付けであるが、年間研修計画を策定し、正規職員にかかわらず会計年度任用職員も平等に受けられるようにしている。外部研修についても参加しやすい環境を作り、積極的に研修の機会を確保している。今年度はコロナ禍で参加できる研修が少ないため過去の資料を活用した勉強会も行い職員全体で知識の共有化を図っている。</p>                                |   |       |
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。  |   |       |
| 20   | Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;市統一の保育実習要綱（マニュアル）が整備され、方針・手順も明文化しており、実習生の意向を聞き取り、実習プログラムを策定している。また、実習生等受け入れは、保護者へ園だよりなどで周知している。今年度は実習生の健康観察期間を採り受け入れている。</p>  |   |       |

## II-3 運営の透明性の確保

|  |   | 第三者評価結果 |
|--|---|---------|
| II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。  |   |         |
| 21   | II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | a・㊦・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;保育の内容や事業、予算などの情報は市ホームページや広報にっこうで情報公開している。第三者評価も平成24年度に受審している。市内にある保育施設を網羅した保育施設等情報ガイドや子育て支援サービスガイドブック（すくすく子育てにっこり日光）を各公共施設に置き、情報提供している。</p> |   |         |
| 22   | II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a・㊦・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;市立保育園であり定期的な異動で事業を新たな観点から内部チェックが働くとともに、定期的に県及び市の監査を受け、指導内容の改善に努めるなど透明性の高い運営を行っている。</p>  |   |         |

## II-4 地域との交流、地域貢献

|  |  | 第三者評価結果 |
|--|--|---------|
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。  |  |         |
| 23   | II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。              | ㊦・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;民生委員のイベントや近隣寺院のお茶会など地域の行事に参加したり、伝統のお祭りの見学、世界遺産の散策をしたりするなど出来るだけ地域や人々と子どもたちの交流が持てるよう計画している。今年はコロナ禍で行事の中止が相次ぐ中、自ら収穫したさつま芋を焼き芋にして近隣の人々に配り、自発的な交流を図るなど積極的な対応もしている。</p>   |  |         |
| 24   | II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。      | a・b・㊦   |
| <p>&lt;コメント&gt;中・高生の職場体験や県の再就職のための保育体験は受け入れているが、ボランティアの受け入れに対する基本姿勢等は明文化されていない。</p>  |  |         |
| II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。   |  |         |
| 25   | II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a・㊦・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;保育サービスに必要な社会資源を「子育て支援ネットワーク」として保育園のしおりに載せ、保護者に配布・説明している。また、関係機関・団体とは変化が見受けられた場合連絡するとともに、団体等からの応答には随時対応している。家庭で問題を抱えている子や発達が気になる子については、家庭児童相談員や保健師と連絡をとり関係機関につなげるなど適切な連携が確保されている。園内でも保育会議で情報の共有化が図られている。</p> |  |         |
| II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  |  |         |
| 26   | II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。             | a・㊦・c   |

|   |  |              |
|---|--|--------------|
| <p>&lt;コメント&gt;市行政からの情報や、日光地区の施設長会議、小学校のほか地域の役員、子育て中の人から地域の保育ニーズや課題を情報収集している。また、地域住民に対する育児相談事業も実施し、具体的なニーズの把握に努めている。市民アンケートでも育児・子育てに悩む回答が寄せられており、今後も積極的な活動を期待したい。</p> |  |              |
| 27  | <p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p> | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;地域の子育てニーズに基づいた事業として子育て相談事業を行っている。特に、9月には園庭を近隣の人々に開放して交流の場を設け、地域の人々からの育児に関する相談に応じている。</p>   |  |              |

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

|   |  | 第三者評価結果 |
|---|--|---------|
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。   |  |         |
| 28  | Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;公立保育園全体で、子どもを尊重したサービス提供の基本姿勢は統一し、保育理念や保育方針に明示され、職員の共通理解が図られている。理念や方針に基づき、園の目標や重点施策は職員との話し合いの中で保育の計画が作成されている。事業計画や保育の計画等は保護者にも総会等で説明し保育室や事務室にも掲示している。自己評価チェックリストでも職員の理解は確認している。</p>               |  |         |
| 29  | Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。        | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市個人情報保護条例に基づきプライバシー保護に取り組んでいるほか、「プライバシーポリシー」を保護者にも配布し、職員との共通理解を図っている。日常の保育でも家庭環境の情報や写真の漏洩防止などに取り組み、個々の園児情報などで職員が守るべき事項を認識した行動をしている。</p>  |  |         |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。   |  |         |
| 30  | Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。   | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;必要な情報は、日光市のホームページに掲載されているほか、保育園の理念や方針・目標等の基本姿勢・行事・保育園の一日などを分かりやすく紹介した冊子「施設情報ガイド」や、「入園のしおり」が各公共施設等に配置され、誰でも情報が入手できる。また、通年見学希望者も受け入れており、他施設の情報も提供しながら入園の案内・相談も受けている。</p>                           |  |         |
| 31  | Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。     | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;4月の入園決定者には2月に説明会を開催し、保育園のしおりや申請書等で保育の開始・変更を説明し保護者の確認を得ている。また、就労や出産など家庭の都合による保育時間の変更や保護者の不安・疑問についても入園施設等入所（園）のご案内で分かりやすく表現しているとともに、丁寧に話を聞き直接対応している。年度初めには重要事項説明書等を配布し再度保育の内容を説明し、保護者の同意を得ている。</p> |  |         |
| 32  | Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。    | a・b・①   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市立保育所間は、児童票の引継ぎ等を基に保育の継続性を行っているが、民間や市外の保育園には必要に応じて文書化して対応している。また、退園について保育の継続性の電話を受けた場合は個人情報に定められた範囲で回答（口頭）している。関係機関とつながっていた児童は、担当課を通じて情報を提供している。退園後の民間保育園等への引継ぎについてもマニュアルの整備等の検討を望みたい。</p>     |  |         |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。   |  |         |

|   |  |       |
|---|--|-------|
| 33  | Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。            | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;保育参観や保育参加、個人面談（年2回）を実施し、家庭で起きている出来事や園生活で気になっている事柄などについて意見交換や保護者の意向を把握し、子どもの個別支援に役立てている。また、遠足や運動会など保護者が参加した行事についても事後アンケートを実施し、結果を保護者に報告している。改善の必要があれば次年度に反映させている。行事を進める際は、子ども達と話し合い、意見や発想を取り入れながら子どもが意欲的に取り組めるよう工夫している。</p> |  |       |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。  |  |       |
| 34  | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;苦情相談窓口の案内を年度初めに配布・説明し、各保育室、事務室に掲示するなど周知が図られている。苦情、要望などは連絡帳等で対応しており、無記名で投函できるご意見箱の設置や苦情解決責任者・受付担当者の配置、第三者委員も設置されている。例年、第三者委員は運動会、卒園式に招待し保護者に紹介して気軽に相談できるよう配慮している。</p>   |  |       |
| 35  | Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。         | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;保護者総会時に自由に意見が述べられる環境であることを周知している。送迎時や年2回の個人面談でも相談や意見を受け付けている。また、年5回の役員会議で、保護者間で疑問や意見があるか確認しながら園長、主任が出席して改善や決定事項の説明をしている。保護者が気軽に相談できるよう積極的な働きかけが望まれる。</p>   |  |       |
| 36  | Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。            | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;保護者からの相談や意見は、意見箱やアンケートの実施のほか、担任が連絡帳や送迎時に受け園長や主任へ報告することを徹底させている。緊急を要する場合や深刻な内容、即答できない案件については、場所を変えて相談に応じている。市担当課に確認が必要な事項は市の結果を受けて回答している。相談・意見については園長及び職員が共通認識を持って行っているが、対応マニュアル化までは至っていない。</p>                             |  |       |
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。   |  |       |
| 37  | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。  | ⑩・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;リスクマネジメントについては、園長が責任者になり整備している。前年度の事故報告書の結果を年齢別に検証して再発防止に努めている。また、園内ヒヤリハットマップを作成し、職員、保護者が常時確認できるように掲載している。ヒヤリハット報告書及び事故報告書は事例ごとに記録し、全職員に回覧して周知を図っている。遊具の業者点検や乳児の午睡チェック、不審者訓練、散歩・園外保育マニュアル及び園外保育日誌の整備など事故防止の対策も取られている</p>   |  |       |
| 38  | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;保育所における感染症対策のガイドラインを基に、感染症予防マニュアルが整備され、発生時の子どもの安全対策、職員の行動、保護者への連絡及びプライバシーに配慮した情</p>  |  |       |



|  |   |              |
|--|---|--------------|
| <p>報提供等を園内研修で確認しているが、一部の感染症・食中毒連絡体制が十分でなく、整備が望まれる。コロナ対策では、朝の検温、手指・テーブル・椅子・床・玩具等の消毒及び部屋の換気、来園者の名簿作成などの対策をとっている。</p>   |   |              |
| 39   | <p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。</p> | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;災害時の安全確保について避難訓練等を実施している。外的要因として施設の南西側に約3メートルの道路を挟んで傾斜のある川があり、60年間氾濫していないが、近年の局部集中豪雨時の対応が考慮される。保育園としては、2次避難場所（行政センター）への避難訓練やサプライズ訓練なども実施しており対応力をつけているが、洪水時にも迅速な対応ができるよう今後とも避難訓練の充実が期待される。また、施設整備に際しては、日光市と十分な協議も検討する必要があると思われる。</p> |   |              |

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

|   |  | 第三者評価結果      |
|---|--|--------------|
| <p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>  |  |              |
| 40  | <p>Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p> | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの発達や状況を踏まえた標準的な保育の実施方法が文書化されている。一部標準的な実施方法にそぐわない保育については、子どもの特性や支援の必要性もあり対応方法が組織として難しいことから、研修課題として取り上げ、改善、見直しを図っている。今後、具体的なケースを念頭に多様な保育の提供につながることを期待される。</p>  |  |              |
| 41  | <p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>   | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;年度末の反省を基に次年度の保育計画・保育活動を検討するため、保育のマニュアルも必要に応じて見直しを行い、年度初めの職員会議等で意見交換・確認をしながら標準的な実施方法について必要な見直しを行っている。今年はコロナ禍のため随時検討が必要で、保育の方法でそぐわない部分は主任が中心となって対応している。今後も、保育内容の変更が予想されるため、各施設長や保護者等の関係者からの意見を踏まえた検討が期待される。</p>    |  |              |
| <p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>  |  |              |
| 42  | <p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。</p>      | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;アセスメントに関する手順を組織として定め、主任が責任者となって評価・見直し・次年度の指導計画書を策定している。日光市では、指導計画に基づく個別計画は3歳未満ばかりでなく全員策定し、乳児は毎月、幼児は年4回保護者に説明し確認を得ている。また、幼児は年度初めに保護者の意向を聞き取り計画に反映している。アセスメントは保護者の把握も必要であるが、確認方法について検討中であり、その検討結果を踏まえた整備が望まれる。</p> |  |              |
| 43  | <p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>          | <p>a・⑩・c</p> |
| <p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの発達に着目した指導計画は、担任・主任・園長体制の合議のもとに、実施状況の評価・見直しの手順を決めている。しかし、個別計画については保護者アン</p>  |  |              |

|  |   |       |
|--|---|-------|
| <p>ケートで保護者の思いを考慮した計画を要望され、計画の評価・見直しについて今後、保護者との話し合いを行う予定。保護者と同じ思いで計画が立てられるよう改善が期待される。</p>  |   |       |
| <p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>  |   |       |
| 44   | Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | a・①・c |
| <p>&lt;コメント&gt;個別計画書は担当する職員で話し合いのうえ作成し、園長・主任が確認し、保護者に説明・確認を得て情報の共有化を図っている。職員会議でも、子どものケース会議が開かれ必要な対応策を職員間で共有している。子どもの状況に関する情報は、朝の打ち合わせで各職員に伝え、参加できない職員へは主任が伝え周知の徹底を図っている。早番・遅番の職員は、保護者との連絡伝言記入簿を活用して、引継ぎや申し送り事項を職員から保護者へ必要な情報を伝達している。保育日誌、児童票などの記録は市統一で定められている。</p> |   |       |
| 45   | Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。            | ②・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;記録の管理体制は、日光市文書管理規定に従って管理している。記録の個人情報の取り扱いについては、市の個人情報保護規定に基づき対応することを入園時や保護者会で文書を配布・説明している。職員間では、書類の持ち出し禁止、施錠管理、個人名への配慮などを注意喚起している。また、保護者の携帯電話による写真撮影の使用制限なども講じている。</p>  |   |       |

## A-1 保育内容

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A-1-(1) 保育課程の編成   |   |         |
| A①  | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。 | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;日光市では保育所の理念、目標、方針等とともに地域や自然との交流などを生かした重点目標を掲げた保育の計画及び子どもの発達過程における保育の視点など全体的な計画を公立保育園共通の様式で策定している。園の目標以降については、地域の実態や子どもの発達過程に応じて、保育所のそれぞれの特色を活かした計画となっている。全体的な計画は、職員全員で現年度の評価を踏まえて全クラスで共有し、次年度の計画を策定している。</p>                         |   |         |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開  |   |         |
| A②  | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                | a・①・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;施設については、始業点検で室内温度・湿度など適切な状態を保っている。コロナ禍の中で、保育室、玩具の消毒、換気を厚労省指導に従って実施し、子どもが居心地よく過ごすことのできる環境を保持している。遊具等は職員が毎日安全点検を行うほか、固定遊具の業者点検を年1回は実施して、安全に遊べる環境を保持している。また、長時間保育の中では、乳幼児が幼児と一室になることがあり、園でも課題としている。乳児が居心地よく過ごすためにも施設等の工夫など対策が求められる。</p> |   |         |
| A③  | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                       | ②・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの家庭環境や生活リズム、育ち、心身の状況を把握し、心情を受</p>  |   |         |

|  |   |       |
|--|---|-------|
| <p>け止めた保育をしている。園での姿や家庭内の様子、個人面談、保護者との日々のコミュニケーションで得られた情報を基に十分把握し、個人計画書を作成している。子どもの様子を担任だけでなく全職員が理解し、いつでも協力できる体制をとっている。また、保育士の配慮についても、言動・態度で気になるところがあれば必要により話し合いの場を設け、自己評価時の改善として次に生かしている。</p>  |   |       |
| A④   | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                         | ㊦・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとり発達状況や子ども自身がやろうとする気持ちを育み、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけることができるよう援助している。特に乳児については、月1回個別計画書を作成し、保育のポイントや心身の成長を保護者と共有しながら、より良い保育に努めている。また、その子にとって適切な関りができているかを他職員と相談・確認し、担当職員も自己評価チェックリストで振り返るなどの環境整備を行っている。</p>                                       |   |       |
| A⑤   | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                   | a・㊦・c |
| <p>&lt;コメント&gt;保育士は、子どもがケガにつながらない行動は制止せず遊びが広がるよう見守るとともに、必要に応じて援助するなど主体的な活動できるよう心掛けている。乳児でもできるだけ屋外で体を動かすよう努めている。また、各クラスとも少人数のため、異年齢交流保育を積極的に行い、世代間交流や園外保育など多くの体験ができる機会を取り入れている。</p>   |   |       |
| A⑥   | A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。       | a・㊦・c |
| <p>&lt;コメント&gt;特定の保育士と関わることで、スキンシップや信頼関係が醸成されるよう努めている。保護者と連絡帳や送迎時のコミュニケーションで子どもの家庭での様子について情報収集するなど信頼関係に基づいた対応がされている。また、他の職員も対応できるよう発達状況や日々の過ごし方などの情報を共有している。早朝や延長保育の時間帯も安心して過ごせるよう保育の工夫を検討しており、改善を期待したい。</p>   |   |       |
| A⑦   | A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a・㊦・c |
| <p>&lt;コメント&gt;子どものやりたい気持ちを尊重しながら、一人ひとりの毎月個別計画書を作成し、基本的な生活習慣を身につくよう配慮するとともに、自我の育ちを見守るなどの保育に努めている。また、日々保護者と担任が直接子どもの様子を話したり、連絡帳や日誌などで情報の共有を図っている。動きが活発化する年齢のため、事故やヒヤリハット、子ども同士のトラブルになるケースも増えてくるので、事故報告を職員回覧したり、事故の起こりやすい場所をヒヤリハットマップで確認したりして、子どもの育ちを援助している。</p> |   |       |
| A⑧   | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。        | a・㊦・c |
| <p>&lt;コメント&gt;年齢の段階に応じた個別計画を作成し、年4期に分けて保護者の確認も得ながら一人ひとりの発達に合わせた保育を行っている。各クラスとも少人数のため異年齢交流も含め、</p>   |   |       |

|   |   |       |
|---|---|-------|
| <p>友達とグループでおままごとのコーナーや工作をするコーナーで遊ぶなどそれぞれが活動の中で自己を発揮し、教室を有効活用している。屋外では友達と松ぼっくりを取ったり、セミの観察をしたり、自然や生き物がいる中で生活していることを実感しながら過ごしている。担任も園児たちの成長に合わせた環境整備や自己肯定感が育つよう丁寧に対応している。</p>  |   |       |
| A⑨  | A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。       | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;個別計画を毎月作成し、保護者に内容を確認してもらい適切な環境で生活できるよう留意点を把握しながら連携した保育が行われている。医療機関など関係機関を利用している場合は、利用の様子を保護者から確認して対応している。利用していない場合は、保護者の意向を確認して療育が受けられる環境整備に努めている。また、保健師等の巡回相談を受けた場合は、全職員と保護者に報告し、具体的な方策について共有化を図っている。職員は、必要な知識を研修会に参加して習得し、職員全体に周知し情報の共有化に努めている。</p>  |   |       |
| A⑩  | A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。            | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;連絡事項については、保護者との連絡伝言記入簿に各担当が記入し、遅番の職員が保護者に伝達している。在園時間の長い子どもは、乳児・幼児スペースをパーティションで分けて過ごしているが、長時間保育の改善策として、遅番の職員が人数により読み聞かせタイムやお楽しみタイムの時間を実施している。また、2歳児の優先席や遊びのコーナーを設け室内環境を改善した。楽しく、穏やかに過ごせるよう実施中で、その効果が期待される。</p>  |   |       |
| A⑪  | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;小学校と幼保小合同研修や学校評議員会を通して情報の共有を図っている。小学生を夏祭りの行事に招待したり、小学校の学習発表会を見学するなど交流を深め、年長児が楽しい体験の中で小学校入学に期待や興味が高まるよう配慮している。配慮が必要と思われる子どもには、小学校教諭の園観察を実施している。学校とは保育要録、就学連携シート等で引継ぎを行い連携している。職員共通の理解のもと、就学を見通した連続性のある保育計画を作成している。保護者に対しては就学後必要となる事項を説明し、相談にも応じている。</p> |   |       |
| <p>A-1-(3) 健康管理</p>   |   |       |
| A⑫  | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                              | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;年間保健計画や安全管理と危機管理マニュアルに基づき、健康管理を行っている。入園時や保護者との面談時に既往症や予防接種状況を確認し、未接種者への案内をしている。毎日、登園受け入れ時の検温、目視と保護者への聞き取り、園での体調やケガなど健康状態を保護者に伝え情報の共有をしながら対応している。また、午睡中の事故防止のため、睡眠観察表を活用している。保護者に保健だよりを年4回配付し、健康管理の情報提供に努めている。</p>                                      |   |       |
| A⑬  | A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                         | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;年2回の内科検診、歯科検診、尿検査、主食量調査を実施し、結果を保護者に文書で伝え、医療機関への受診促進や必要に応じて管理栄養士の食事指導、虫歯予防のための保健師指導などの支援や相談に応じている。</p>  |   |       |
| A⑭  | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて                         | ⑨・b・c |

|  |   |       |
|--|---|-------|
|  | て、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。                  |       |
| <p>&lt;コメント&gt;市統一のアレルギー対応ガイドラインに基づき、入園説明会時から栄養士がアレルギーの説明をしている。医師の診断により管理栄養士指導の下でアレルギーがある場合の調査票を作成して、献立表について保護者に説明し、確認をとっている。食事の際は職員2名を配置し、アレルギー児には必ず1名がついて安全を確認している。配膳についても手渡し時に確認することや、机、いす、布巾も別にし、必要により仕切りをつけるなど万全の対応をしている。職員もエピペンの模擬練習を月一回実施している。職員は外部研修や園内研修で全職員が内容を確認している。</p> |   |       |
| A-1-(4) 食事   |   |       |
| A⑮   | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。          | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;年間食育計画を作成し、子ども一人ひとりの嗜好・食事量を把握し、食事が落ち着いて楽しみながら食事がとれるよう音楽をかけたり、テーブルに季節の花を飾ったりするなど、環境づくりをしている。また、歌や絵カードで食材を知り、食事バランスガイドを掲示して偏食改善や食育への関心を深め、野菜を栽培して行事に活用するなどの活動も行っている。保護者には、保育参観で子どもと一緒に給食を食べたり、親子おやつ作り体験に参加するなどの取り組みを行っている。</p>  |   |       |
| A⑯   | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;市の管理栄養士が献立表を作成し、園の給食会議で各担当が前月の献立内容や食事の様子、初めて食べたメニューの感想等を報告している。離乳食については、保護者に離乳食問診票と献立の食材のチェックを確認してもらい、一人ひとりに合わせた献立表を作成し、給食を提供している。調理員は季節感のある食事や食材の工夫をするとともに、食事に同席し、翌月の参考にしている。また、子どもが自分で盛り付けをすることで適量を知り、完食の喜びや経験を大切にしている。衛生管理は、衛生管理点検表を使って適切に行っている。</p>               |   |       |

## A-2 子育て支援

|   |   |         |
|---|---|---------|
|   |   | 第三者評価結果 |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携   |   |         |
| A⑰  | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;毎日、保育室前のホワイトボードでその日の出来事を掲示し保護者に情報提供するとともに、0, 1歳児は連絡ノートで午睡や食事の様子を伝え、2歳以上は連絡帳のほか、口頭で担当が直接伝え、遅番時間帯は連絡伝言記入簿を用いて遅番が園での様子を伝えている。また、コロナ禍で保育参観は延期になったが、保育参加、個人面談で園や家庭での様子の情報交換をしている。運動会、発表会に保護者も参加し行事のアンケート調査で意見を聴くなど家庭との連携を図っている。</p> |   |         |
| A-2-(2) 保護者等の支援   |   |         |
| A⑱  | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。    | a・b・⑩   |

|  |  |       |
|--|--|-------|
| <p>&lt;コメント&gt;保護者が安心して子育てができるよう、相談があれば随時受けている。園から子どもの発達については健康診断後や調査結果報告後に、園生活については子どもの様子に変化があった時に保護者と話す時間を作り、育児相談実施記録簿に残し、職員会議で職員に周知している。内容が深刻な場合は、園長、主任が報告を受け対応している。関係機関につなげる必要があるものは、子ども支援課を通して支援している。核家族化の中で育児に不安を抱えている保護者も多いと思われるので、状況を把握し安心して子育てができる環境整備に取り組むことが望まれる。</p> |  |       |
| A⑱   | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a・⑩・c |
| <p>&lt;コメント&gt;毎月の身体測定や日々の保育活動の中で、子ども一人ひとりの言動や身体的な変化、衣服の不衛生に注意を払い、チェックリストにより早期発見・早期対応に努めている。気になる子どもについては、保護者の送迎時に家庭の様子にも注意をして、疑いがある場合は、児童虐待マニュアルに基づき関係機関と連携して迅速に対応している。</p>  |  |       |

### A-3 保育の質の向上

|   |   |         |
|---|---|---------|
|   |   | 第三者評価結果 |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）  |   |         |
| A⑳  | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a・⑩・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;職員は業績評価、能力評価のほか、毎年自己評価チェックリスト年1回、日光市自己評価チェックリスト年2回実施して評価結果の分析をし、園内研修で問題点・改善方法について話し合い、全職員が組織として活躍できるよう専門性の向上に取り組んでいるが、改善までの保育実践には生かされていない状況がある。今後、自己の問題点や改善点を明確化して保育内容の改善・向上に生かされることを期待する。</p> |   |         |